

和光市教育振興基本計画 中間評価シート

基本施策10	スポーツ・レクリエーション活動の推進
市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに親しみ、自主的に取り組めるようにします。	

■現状と課題

既存施設の老朽化・劣化が進んでおり、年々増加するスポーツ施設利用者の要望に応えるため、スポーツ・レクリエーション活動のための場所の計画的な維持・管理が求められています。

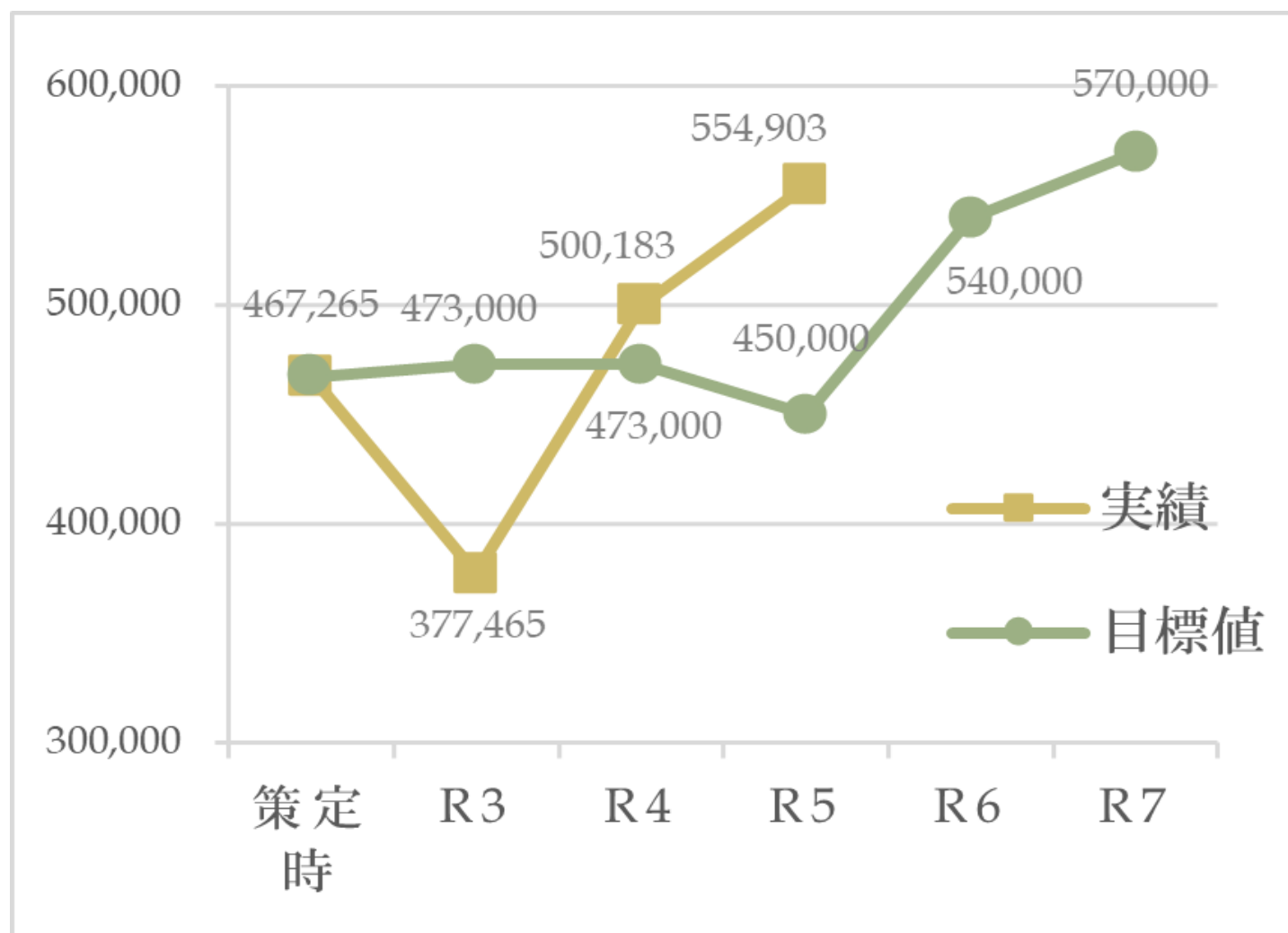
スポーツ・レクリエーションの参加状況は、その内容によって参加者の年齢層に偏りがあり、幅広い世代に対するスポーツ・レクリエーション活動への参加意識を高めるための取組が求められています。

多種多様な事業を展開していくための体育団体の担い手が不足しているため、担い手の確保が求められています。

■令和3年度～5年度の指標及び結果

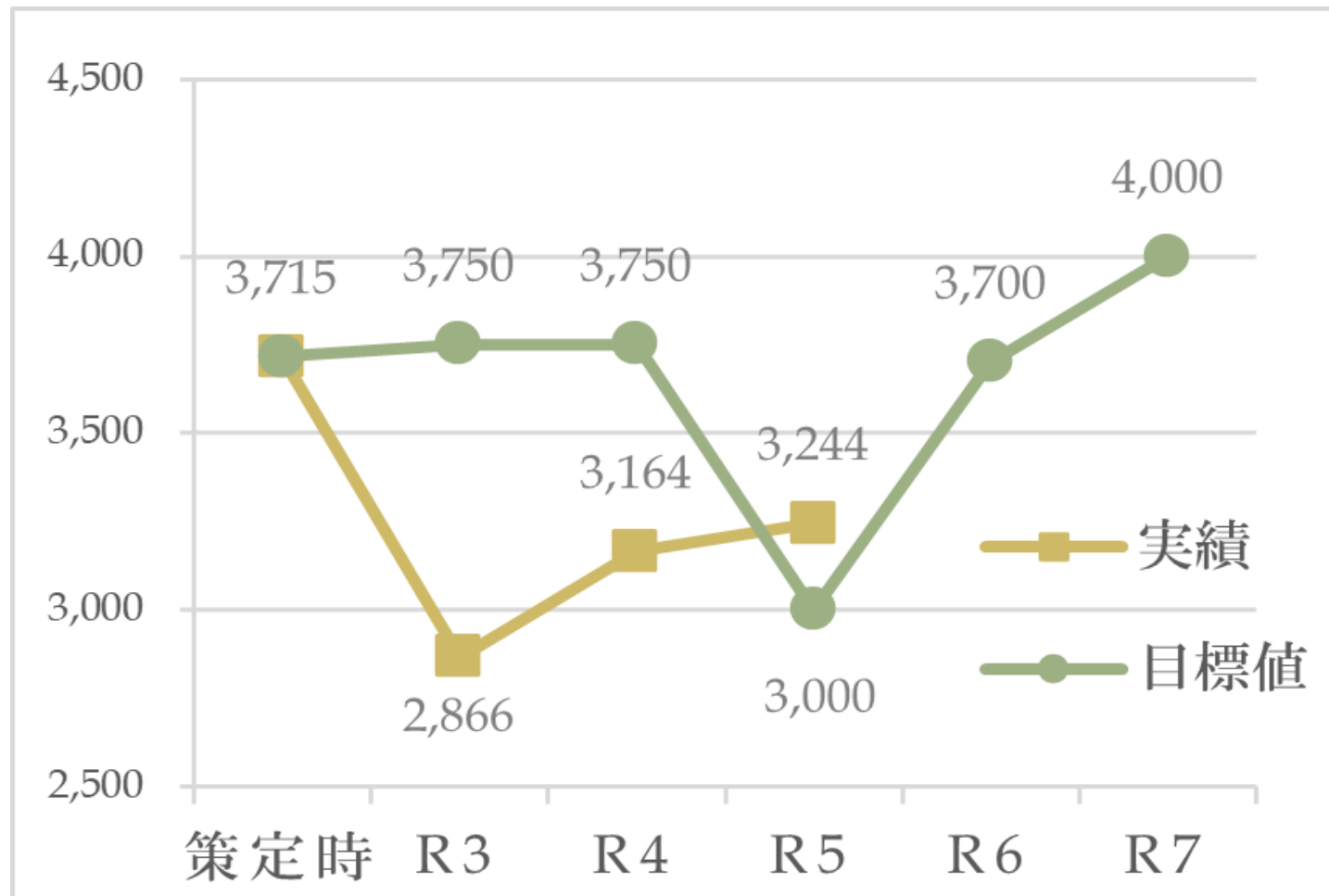
①スポーツ・レクリエーションの環境の整備

市内のスポーツ施設の延べ利用人数



②スポーツ・レクリエーションの環境の整備

市内のスポーツ施設の登録している団体数



■主な取組

施策1	スポーツ施設の利用促進
施策概要	・運動場、総合体育館やアーバンアクア公園及び広沢複合施設の市民プールなど、スポーツ・レクリエーションの活動拠点として利活用を促進します。
具体的な事業・取組等	和光スポーツアイランド及び広沢複合施設市民プールについて、民間活力及び施設特性を生かした施設の有効活用を図るため指定管理者制度による管理・運営を実施。指定管理者と各種事業の協議等を実施した。
自己評価	和光スポーツアイランドの指定管理者の提案である夜間照明(テニス・フットサル)の設置を完了し、利用料金に係る条例を整備し、令和5年7月から運用の開始が出来た。引き続き、施設の有効活用及び利用者の利便性向上のため、指定管理者と協議を実施していく。

施策2	スポーツ施設の維持管理
施策概要	・公共施設マネジメント実行計画を再確認し、施設の安全性・利便性の向上に努めます。 ・施設の計画的な維持管理・修繕を行います。
具体的な事業・取組等	和光市運動場について、施設が老朽化しているため、施設の状況把握及び利用者の利便性向上のため、改修工事(管理棟空調設備更新)を行った。
自己評価	引き続き、修繕の必要箇所及び優先順位を見極め、予算の確保及び計画的な維持管理・修繕を実施していく必要がある。

施策3	学校施設や国の施設の有効活用
施策概要	・市内小中学校の校庭及び体育館となる学校開放利用を促進して行きます。 ・市内にある国の施設を市民開放により継続して有効利用ができるよう関係機関に働きかけます。
具体的な事業・取組等	・利用団体や市内小中学校関係者と意見交換を行い、適切な利用についての調整を図った。 ・関係機関と調整を図り、施設開放に係る継続協議を行った。
自己評価	・適切な利用について、利用団体に指導を行い、学校の施設について適切な利用が出来た。今後についても、利用団体の管理、指導及び学校との調整を図る。 ・各種機関との調整を図り、適切な利用が出来た。 ・今後も継続して利用できるよう協議を行う。

施策4	参加しやすいイベントの企画・開催
施策概要	・市民ニーズに対応した参加しやすいイベントを企画・開催して行きます。 ・市民の健康と体力増進、楽しく継続したスポーツができるよう施設特性を生かし、適正と利便性の向上を図って行きます。
具体的な事業・取組等	・所管する各スポーツ施設の指定管理者及びスポーツ推進委員と協議を行いスポーツの推進を図った。スポーツ推進委員においては、障害者団体等に対してのスポーツ指導を実施した。 ・令和5年度は「スポーツの日(10月の第2月曜日)」に年齢性別問わず、誰でも気軽にスポーツを体験し、楽しむことができるイベント「わこうスポーツ祭り」を実施。約1,400名の参加があった。(荒天のため、屋外プログラムは一部のみ実施)
自己評価	・実施事業中、参加者が僅少である定数に満たない事業については、事業内容や周知方法を見直す必要がある。障害者団体、市民団体等からの依頼に応え、スポーツ推進委員によるスポーツ指導を実施することが出来た。 ・「わこうスポーツ祭り」は令和5年度に初めて開催したが、多数の方に参加いただくことができた。引き続き、スポーツに興味を持ってもらえるイベントとなるよう検討を進める。

施策5	スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信
施策概要	・広報誌や市ホームページなど各種広報媒体を活用して情報発信をして行きます。 ・各施設やスポーツ団体のホームページを充実させます。
具体的な事業・取組等	・市ホームページと各指定管理施設ホームページとのリンクや指定管理者により、施設利用案内チラシの配付やSNSを活用した情報発信を行った。また、市の主催事業については、市のSNSを活用し、情報を発信した。
自己評価	・引き続き、情報発信を行い、施設の周知、事業の周知を実施する。

施策6	体育団体の役員の後継者の養成
施策概要	・体育団体及びその加入組織の後継者養成を行います。 ・各団体の活動や組織運営の自立支援をして行きます。
具体的な事業・取組等	・体育団体の運営、補助金交付対象事業及び補助金の充当の考え方について、指導、助言及び協議を実施した。 ・スポーツ関連団体間(スポーツ協会、スポーツ少年団等)において、運営、事業実施に向けた連携のための協議の場を設け、調整を図った。
自己評価	引き続き、調整及び支援を行う。

■社会教育委員の意見・提言

[評価者:]

・ ・ ・ ・ ・

■今後の取組

☐ このまま継続にむけて検討
☐ 改善して継続を検討
☐ 事業の大幅な見直しを検討

--